

# 全体計画の方針

- アジェンダ十箇条から以下の方針で提案する
- 舟下りの新たなネットワークによるまち全体の散策の誘発
- 地域の日々の生活景の創生を目指す
- 堀割空間の見直しによる新たな親水交流空間の創出

## 日仏景観会議「柳川会議」アジェンダ

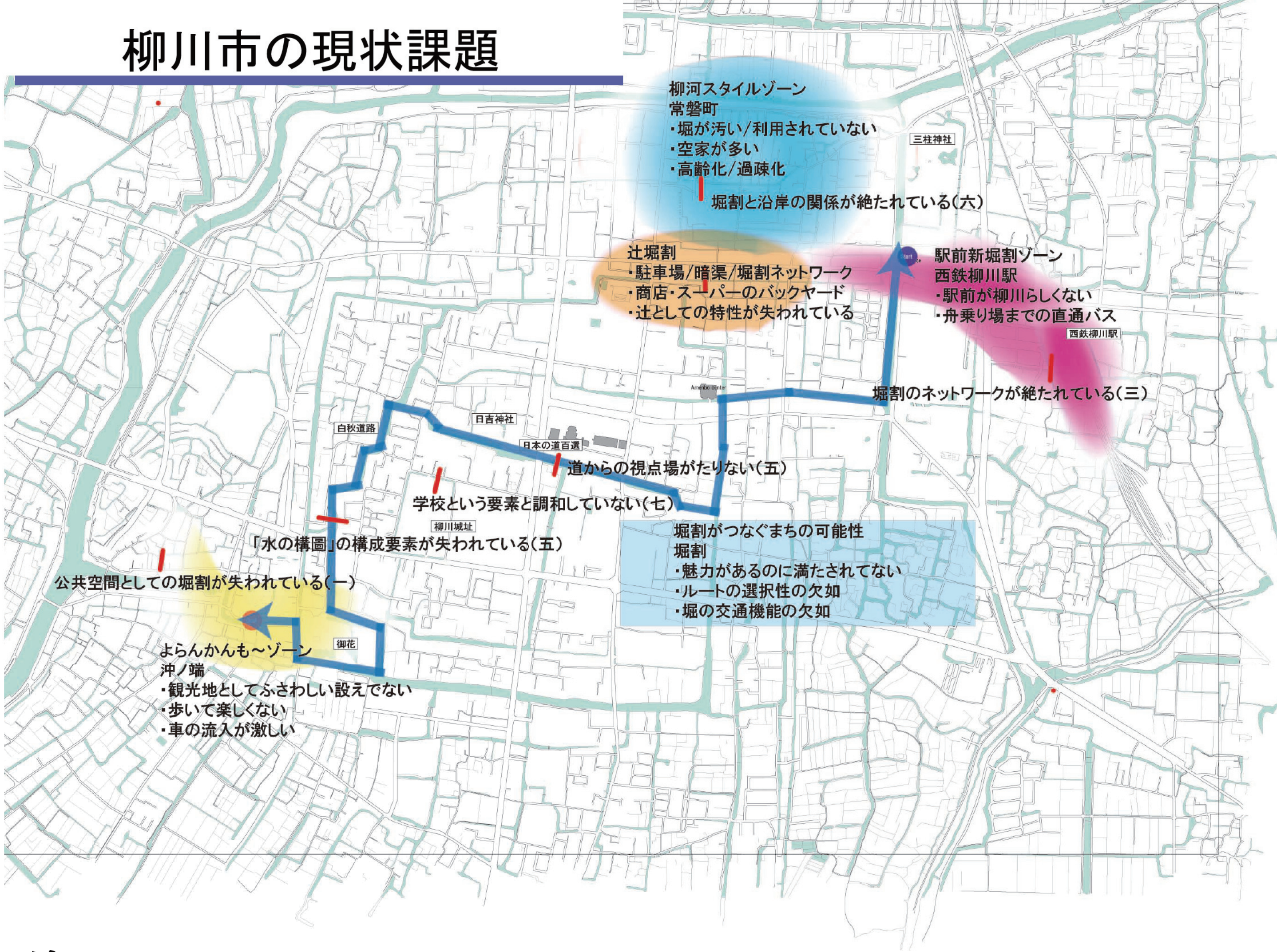
### 「柳川堀割景観創生への指針」

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 一、公共空間と共通財産としての景観への敬意 | 六、堀割内から見る景観の重視と断面構成のデザイン |
| 二、景観を支える生態系と循環系の保全    | 七、古いものと新しい技術と要素との調和と統合   |
| 三、ネットワークと連続性の重視       | 八、ハレの景観の舞台と背景への配慮        |
| 四、地区ごとの特性と歴史的文脈の解釈と尊重 | 九、人の営みと共に生きる景観への意識の涵養    |
| 五、「水の構圖」と視点場の尊重       | 十、参加と協働の仕組みと方法の再構築と拡充    |

# 各班の提案

- 堀割を活かしきる
- よらんかんも柳川  
～駅から観光拠点へのアプローチと出会いの創造～
- 回（カイ）  
～沖ノ端の回遊路～
- 辻と堀割
- 現代版堀による生活

# 柳川市の現状課題



# 柳川の将来像

